

Global Mobility Service株式会社



- 所在地：東京都港区
- 従業員：207名
- 会社設立年：2013年
- 事業内容：IoT、モビリティ、Fintech

<https://www.global-mobility-service.com/>

プロジェクト名

- IoTデバイス導入による車両管理と温度管理可視化によるインドネシアにおけるラストマイル輸送の高度DX化

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：ARPI(インドネシアコールドチェーン協会)、FastrexFresh(ラストワンマイル物流スタートアップ)、Varion(日本高品質イチゴ生産者)
- 協力・連携の内容：アプリ、システムによる温度管理の可視化、ARPI加盟物流企業に導入・展開



現地の経済・社会課題

- 経済成長に伴いコールドチェーンの需要が急増。
- 温度管理不足により、40%の食品が流通段階で腐敗しており、食品の廃棄や安全面で課題が生じている。
- コールドチェーン物流のDX化による高品質化が急務。

実証内容

- 温度センサーとGMSのMCCS(IoTデバイス)を搭載した冷凍・冷蔵車両を活用し温度管理、運行管理のデータ取得。
- Varionの高品質の日本イチゴ、その生鮮食品の輸送と温度管理のラストマイルまでの可視化。
- 上記のDXアプリ化。

期待される裨益効果

- 日本品質のイチゴを生産するVarionの全国展開物流支援。
- 流通段階における食品廃棄の逓減。
- ARPI(インドネシアコールドチェーン協会)を通じた他物流企業への展開。
- ASEANにおけるGMSフィリピン・カンボジアを通じたASEANでの展開。
- センサーとアプリ導入により、3000円/一ヶ月×1万台の導入。